■ 井戸畑児童公園 再整備コンセプト

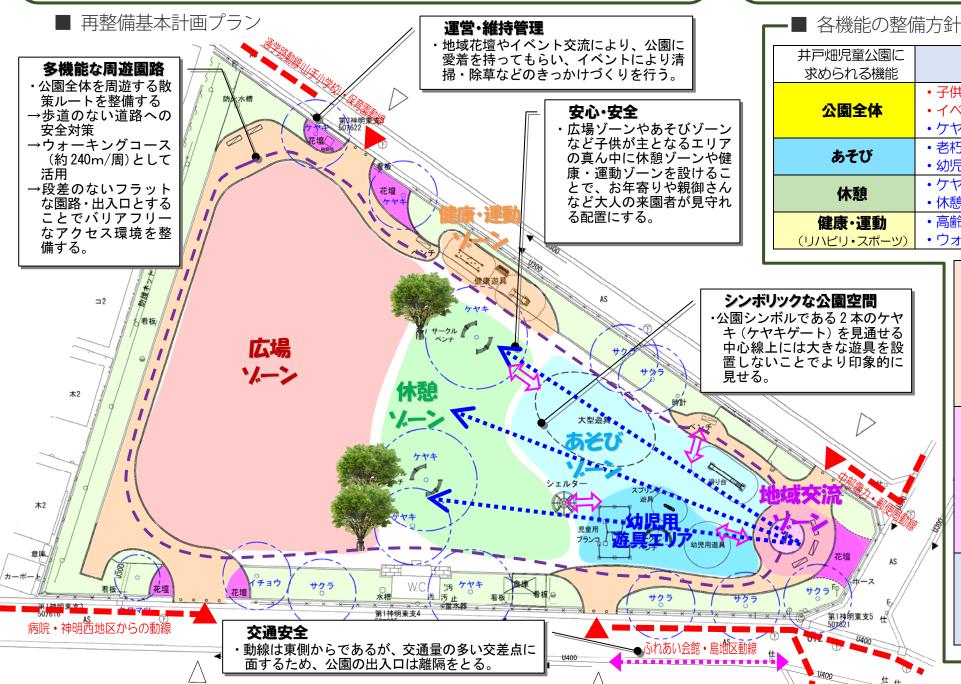


地域をつなぐイドバタ空間 ~地域が主役となる公園づくり~

井戸畑公園は、「幅広い世代の交流」や「地域間の交流」といった、地域を"つなぐ"役割が求められています。よって、今回の公園再整備では、単なる老朽化した公園施設のリニューアルにとどまらず、「地域のコミュニティ空間」として、地域の人たちが主役となり、地域をつなぐ活動を行うための"イドバタ空間"(≒「井戸端」:自然と人が集まる、子供たちの遊び場)の実現を公園整備の基本理念とします。

公園整備においては、公園本来の機能である「遊び」のほか、「集い」や「憩い」といった多面的な機能を備え、将来的に地域活動の拠点として活用できる空間形成を目的とし、公園のシンボル「ケヤキのゲート」を中心に新たな魅力を付加することにより地域に愛される場を実現することを目標とします。

公園運営では、地域が主役となり、行政と協力して維持管理できる仕組みづくりの構築を目指します。



- ■ 各機能の整備方針(青字:ハード面、赤字:ソフト面)

1	
井戸畑児童公園に 求められる機能	各機能における再整備の基本方針(案)
公園全体	子供からお年寄りまで「世代」が交流できる公園イベントや市民花壇など「地域」が交流できる公園ケヤキを生かしてシンボルにした公園
あそび	・ 老朽化した遊具をリニューアルする(魅力ある施設整備・見守れる施設配置)・ 幼児用の遊具エリアを設け、安心して遊べる遊具ひろばを整備する。
休憩	ケヤキの木陰を生かした休憩スペース整備休憩施設のリニューアル(屋根付施設・ベンチ増設)
健康・運動 (リハビリ・スポーツ)	高齢者の運動やリハビリ、フィットネスが目的の人も利用できるような施設を設けるウォーキングや散策、スポーツが楽しめる施設整備で健康づくり
ドリックな公園空間 ンボルである2本のケヤ ・ヤキゲート)を見通せる 泉上には大きな遊具を設 ないことでより印象的に も	地域交流 (地域交流 (地域交流・ 多世代交流) ・地域連携と多世代交流できる公園にする ・ケヤキの木陰を人が集まれるスペースに整備する ・地域のイベントが運営できるよう既存の広場を活用する ・地域のイベントを開催する(季節イベントく花見、祭り、運動会、BBQ、焼き芋など>、継続イベントく教室・体操など >、防災イベントほか)

■防災:市防災計画上の「指定緊急避難場所」として広場を活

用する 安全・安心 ■防犯: お年寄りや親御さんが見守れる配置にする

(遊び⇔休憩)

■交通安全:外周植栽(主に低木)を伐採・剪定して、道路への見通しを確保する

■バリアフリー: 散策路整備により、車いす利用で公園を周遊できるようにする

運営・ 維持管理

(防災・防犯・

交通安全) (バリアフリー)

> ■清掃・除草:イベントをきっかけにみんなで維持管理を行う など、行政と地域が一緒に維持管理していく仕組みづくりを 行ない、みんなで協力できる公園管理を目指していく

> ■イベント運営:地域の人たちが核となり、イベントが行える 公園を目指す